

進路だより

令和2(2020)年 7月22日

発行：栃木県立益子特別支援学校

今回は、「中学部の校内作業実習」、「高等部の校内実習」、「卒後支援について」、「頑張る先輩」の四つの内容をお届けいたします。

また、保護者の皆様の声を進路だよりに反映させていきたいと思います。進路について知りたいことや質問等をぜひお寄せください。よろしくお願いいたします。

～ 中学部の校内作業実習 ～

中学部は、6月29日（月）～7月3日（金）の1週間、「手工芸班」「陶芸班」「農作業班」の3班に分かれ、校内作業実習を行いました。今学期は、密集を避け学習集団を細かく分けたり、道具の共有を避けたりと、新型コロナウイルス感染予防対策を行って取り組みました。終日の作業学習を行うことで高等部での実習に思いを寄せたり、卒業後に向けて「はたらく力」の大切さを学んだりしました。

【手工芸班】

手工芸班では、手すきはがき班、材料作り班、ストラップ・裂き織りマット班に分かれて作業をしています。それぞれの班で、作業スキルの向上を目指したり、挨拶や報告が上手にできるように頑張ったりしています。生徒たちの日々の努力や工夫で、すてきな製品を作り上げることができました。



【陶芸班】

中学部陶芸班では、花飾り班、ペーパーウェイト班、植木鉢班、皿班に分かれて作業をしました。態度面や作業面に関することをそれぞれが目標設定し、達成するために5日間頑張りました。一日一日と作業に取り組む中で、それぞれの作業スキルは確実に上がり、気持ちのこもった陶芸作品を作ることができました。今後素焼きをし、釉薬掛けをします。完成品を見るのが楽しみです。



〔農作業班〕

中学部農作業班では、じゃがいもの収穫、選別や畑の草むしりなどの活動をしました。雨の日は、農具の手入れや掃除などの作業にも取り組みました。体力を使う作業内容が多い農作業班ですが、生徒たちはめげずに各々の課題に向き合い、活動することができました。今年度は天候が不安定だったため、実習中の販売はできませんでしたが、今回収穫したじゃがいもは給食に使用して頂いたり、校内で職員や保護者向けに販売を行ったりする予定です。



～ 高等部の校内実習 ～

本年度の1学期校内実習は、1年生から3年生までの全員で、6月15日（月）～6月26日（金）までの2週間「木工班」「農業班」「クラフト班」「メンテナンス班」「農園芸班」「リサイクル班」の6班に分かれて、終日それぞれの作業に取り組みました。

初めて校内実習を経験した1年生は、初めは戸惑いもありましたが、徐々に校内実習の流れに慣れ、「働くこと」について理解していきました。各生徒の実態や実施する内容に合わせて、目標設定は様々でしたが、働くために必要な基本的態度である「挨拶・返事・報告」は、みんなが意識をして取り組みました。また、長い時間作業を続けることで、働くための体力（筋力や体の動かし方など）や、耐力（働き続ける力、集中力を持続させる力、忍耐力など）も養う機会となりました。今後も校内実習で学んだことを生かして充実した学校生活を送り、進路実現に向けてさらに力をつけていってほしいと思います。

〔木工班〕

毎年販売するベンチを製作しました。2×4の木材を①規格どおりに切る、②穴やほぞを彫る、③ビス打ちなどをしながら組み立てる、④やすりやバーナーで加工を行う、⑤たわしや布で磨くなどの工程を丁寧に行い、組み立てることができました。安全第一を目標に掲げながら、将来に向けて必要な力を高めることができました。



〔農業班〕

晴天時は、①麦の収穫・粳すり・唐箕を使用しての分別②除草作業・整地作業③苺やブルーベリーなどの管理作業を行いました。雨天時は、①小麦のごみ取り②小麦の製粉作業を行いました。梅雨の時期に入り湿度が高だけでなく気温が高い日でも、個人目標が達成できるように一人一人が一生懸命に取り組むことができました。また、2週間作物と向き合う中で作業のスキルを学ぶだけでなく、作物を大切に育てることの重要性も学ぶことができました。



〔クラフト班〕

和紙を作るために、給食の牛乳パックをリサイクルしています。作業は、①パック切り、②ラミネートはがし、③紙ちぎり、④ミキサーがけ、⑤紙漉きの五つの工程に分かれて行いました。それぞれの工程で、働くために必要な力を身に付けようと意識して取り組みました。挨拶・返事・報告をしっかりとすること、最後まで集中すること、身だしなみを整えることを目標に、みんなで励まし合いながら頑張りました。



〔農園芸班〕

畑の除草作業、花壇の整備、野菜の収穫、マリーゴールドの苗植えなどの作業を行いました。梅雨空の中、晴天時には鎌やくわを安全にを使って畑仕事を行い、雨天時には室内でプランター掃除などの道具の手入れを集中して行い、天候による急な予定変更にもしっかりと対応することができました。安全意識や体力なども向上し、将来に向けて充実感を得ることができた2週間でした。



〔メンテナンス班〕

清掃に取り組みました。事前学習では基本の実技（雑巾の絞り方、机の拭き方、自在ぼうきの使い方など）を練習し、実習中は、教室、廊下、階段、トイレ、特別教室（体育館など）の清掃をしました。

実習を通して生徒たちは、将来の職業として魅力を感じたり、他者から感謝されることに喜びを感じたりすることができたようです。また、体力面やコミュニケーション面など、自分の課題を知ることができ、充実した10日間の実習とすることができました。



〔リサイクル班〕

缶の分別・プルトップ取り・缶数え・缶つぶし・袋詰め・計量の六つの作業工程を3班に分かれて行いました。蒸し暑い中での作業ではありましたが、それぞれの作業班に分かれ、「安全第一」をモットーに2週間頑張りました。少しずつ作業に慣れ、日に日に出来高を伸ばすことができました。また、学校周辺の清掃活動も兼ね、アルミ缶収集も行いました。2週間の実習を終え、どの生徒も満足感であふれた表情をしていました。



卒後支援について

高等部卒業後の支援として6月と8月に本人・保護者に連絡をとり、仕事や生活などについてお話を伺っています。また、進路先を訪問して、勤務状況や生活の様子について把握しています。家庭から何か相談等があったときには、進路先と話し合いをもちます。6月の企業訪問は、公共職業安定所及び障害者就業・生活支援センターと合同で行っています。

今年度は新型コロナウイルス感染症対策により、訪問できない企業があるなど、例年どおりに行うことが難しい状況が続いていますが、訪問できた事業所の卒業生たちは、皆さん元気に休まず通っているとのことでした。各事業所からは、「何も問題ない」「少しずつできることが増えている」「支援に携わることで職員も成長できた」といった話をいただいています。



～ 頑張る先輩 ～

今年3月に本校高等部を卒業した、久郷真沙斗さんは、「株式会社サンデリカ 宇都宮事業所（宇都宮市清原工業団地）」に就職し、主にサンドイッチなどの食品製造に取り組んでいます。



勤務時間は？

9：00～17：00 時々、残業も1時間から2時間行っています。

どんな仕事をしていますか？

サンドイッチ用のパンを機械にセットする仕事や、サンドイッチ用のパンに具材をのせる仕事もしています。

休憩時間はどのように過ごしていますか？

休憩室でゆっくり休んでいます。昼食休憩のときは、食堂で御飯を食べ、TVを見ながらゆっくりしています。

仕事をしていてうれしいことはなんですか？

給料をもらえたことです。僕が作ったパンを食べてくれた近所の方から、「おいしかったよ！」と言われたことです。これからおいしいパンを届けられるように頑張りたいです。

大変なこと、難しいことはなんですか？

体力、筋力が必要です。毎日8時間以上も立ち作業を行うのはとても疲れます。間違わないように、集中して正確に行い続けることが大変です。

学校でがんばっていたこと、職場で生かしていることはなんですか？

毎日の業間体育で一生懸命に走ったり、学校の作業学習(専門教科)を頑張ったりして、体力をつけたことです。正確さ、確認、挨拶、返事、報告、安全第一、整理整頓、掃除のやり方などたくさんのことを学び、生かしています。

これからの夢や目標はなんですか？

お世話になった家族に恩返しをしたいです。具体的にはまだ決まっていません。
仕事に慣れたら、自動車免許の取得を目指して挑戦したいです。

(株)サンデリカ宇都宮事業所管理課人事担当の方より

入社以来、毎日無遅刻無欠席で一生懸命頑張ってくれています。在学中の3回の実習を経て入社していただいたことで、担当した仕事にもスムーズに入ることができています。また、しっかりと「働く」基礎を身に付けてきてくれたことで、安心して仕事を任せることができそうです。

また、実習での経験を生かし、ラインでのサンドイッチ製造作業にも入ってもらえ、大変助かっています。

サンドイッチなどのパン製造に興味のある方は、ぜひ実習に来てください。

保護者の方より

小学部から学校にはお世話になりました。小さな頃から「パン屋さん」になることが夢だったので、関係する仕事に就くことができ、本人、家族ともに大変うれしく思っています。

在学中にお世話になった先生方と本人の適性や課題、進路についてなどたくさんのお話をすることができたので、今の進路先につながったと思っています。

これからも、体調に気をつけながら長く働き続けてほしいです。また、次の夢を見つけ、実現に向けて頑張ってもらいたいと思います。